

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	65.0%	自校A B層の割合	70.0%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・毎時間の板書をTeamsにアップし、家庭学習や授業の振り返りに活用できるようにする。 ・平井西授業メソッド ○モチベーション ○デモンストレーション ○コミュニケーション（重点） ○イノベーション の授業構造を意識する。	・東京ベーシックドリルの診断テストを年間6回実施。データ分析の結果から、毎週の計算タイムの単元の優先順位を決めて取り組む。 ・読書活動の充実を図るため、貸し出し図書を持ち帰り、図書ボランティアによる読み聞かせ動画をTeamsにアップするなど、本に対する興味・関心を高める。	・計算タイム・読書タイムの定着 ・西っ子家庭ルール習慣を活用し、学年×10分の家庭学習の定着
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	・「教室は間違えるところ!」という学級の雰囲気づくりに努め、安心して授業に参加して、自分自身の課題と向き合えるようにする。 ・学年アシスタントと連携して、個に応じた対応に努める。	・東京ベーシックドリルの診断テストの結果を放課後補習事業者と共有して、苦手克服に努める。 ・ドリルパークを活用し、個に応じた課題を出して、苦手分野の復習をする。	・児童の特性に合わせて、ドリルパークを取り組む問題数や時間を決めて、家庭と協力して実施し、学習習慣の定着を図る。
成果指標	・全国学力調査 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」 85%以上	・東京ベーシックドリルの診断テスト 8割達成者 90%以上	・全国学力調査 「学校の授業時間以外に、普段1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。」 1時間以上の回答割合 90%以上